

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 大谷 典子

山名	三上山	山行名	例会
ルート	加茂駅—海住山寺—三上山—棚倉駅		
山行日	2013年12月14日	天候	晴れ、時々曇り
参加者	リーダー：大谷 典子 サブリーダー：頼 礼子 男性： 岡部、三宅、弓仲、園上、西川、石橋、中田、山口、宮野 女性： 頼、吉野、河野、藤富、大谷 徳田 合計：13名		

コースタイム

9:25 加茂駅 9:40 … 恭仁宮跡 … 海住山寺 … 12:10 三上山 13:30 … 棚倉駅 15:30

山行報告

暮れの忙しいさなか、私の大好きな里山三上山にご案内出来てうれしかった。加茂駅には電車で降り立ったのは初めて。そのしっとりした家並みは大層美しく、そこに住む人々の奥ゆかしさが伝わる雰囲気のある宿場町だった。今日一日はゆっくりと、今年を振り返りながらのんびり歩きたいと思い、少し緩やかに運んだ。今日は、納山会のつもりもあったので、山上で少しくらいのお酒ならいいでしょうと皆さんに伝えた。自動販売機で思い思いのお酒をゲット。前方奥に頭を出した三上山が見えていた。ああ、あそこまでいけばいいのかと気持ちもゆったりした歩きで進んだ。海獣山寺までは緩やかな登り。入山料100円の看板をしり目に私たちは、展望台で小休止。順調に三上山目指して林道へ下った。林道を数分歩いて、冒険の道をたどった。3度目の林道を横切ったらもう山頂。頂上直下で昼食。団子汁に、おぜんざい、おいしかった。皆さんせっかく買ったお酒も下山が怖いからと口にせず。私と数人の方だけ調味用のお酒をたしなんだ。さすが山友会、節度ある方々ばかり。時間にゆとりがあったので、食後頂上でおうすを立ててゆったりした時間を過ごした。一年の疲れがすうっと抜ける感じがした。下りはいがけの道を下った。下り始めはきつくて慎重に降りた。林道を過ぎたら竹林、あとは目をつぶっても歩けた道だった。ヒヤリハットもなく、棚倉の駅に着いて今年最後の山歩きは、終わった。

ヒヤリハット ありません

感想文

山上山おもてなし山行

大谷 典子

いつも登っている山上山に新しいルートができて、もう一つこの山が身近になった。加茂駅周辺のゆったりした田園の雰囲気がいいなあと思った。

いつも12月は気持ちだけが忙しく、残り少ない日々をばたばた貧乏でやり過ごしてしまう。

今回この月こそ味わって、12月を終わりにしたいものと努めてきた。山歩きはその意味でも一番じっくりくる過ごし方だ。大勢の方々と、山の上で納山会ができたことはとてもうれしいことだった。お一も一て一な一しの心で企画したら、めっぼう楽しい会になった。

加茂駅から三上山そして棚倉駅

河野 典子

私は一度も行ったことのないコースですし、今年最後の山にしようと楽しみにして行きました。お天気も良く15人のメンバーで、大谷さんのおもいがけずの「おもてなし」に大感激しました。

《終わりよければ全て良し》 今年一年いい一年でした。皆さんありがとうございます。



終い弘法ならぬ、終い山行

藤富 慶子

即、ご利益ありました。大谷さんの“お・も・て・な・し”の、団子汁、お菓子付きおうす、そしてお善哉と・・・美味しかったです。重いのに有難うございました。又、段取りの良さには、以前にもお目にかかったことありますが、さすがでした。

この時期の野山は、木々の葉は落ち美しい実をつけていました。ムラサキシキブ、ビナンカツラ、ソヨゴ、タマミズキ、ツルリンドウなど、教えてくださる方も一緒なのは、これもご利益でした。

師走の一日、野山に入り、一汗流して楽しいひと時を過ごせました。有難う御座いました。

加茂から三上山そして棚倉駅

徳田 幸子

天気も良く穏やかな山行日和です。リーダーの大谷さんのリックは非常に重い。昼食の時、分かりました。出るわ出るわ沢山の材料（団子汁、お抹茶、ぜんざい）団子汁は沢山の具が入ってとても美味しく身体の芯まで温まりました。きっと大谷さんの隠し味の「愛」が入っていたのでしょう。お抹茶、おぜんざいといただきお腹が一杯になりました。

リーダーの大谷様、サブの頼様、皆様方、今年最後の例会お世話になり有難うございました。



三上山に参加して

中田 繁男

今年最後の山行に大谷さんに申し込みしたら、お椀と箸を持参してほしいと言われ温かい物が頂ける企画に期待して参加しました。

J R加茂駅の皆さん集合、普段なかなかお目にかかれないメンバーの方々も見られました。

C Lの大谷さんの荷物が異常に多く、さっそく手分けして男性軍が中心に持ち出した。中には家庭用コンロ等は山行には似つかわしくないものもあって和気あいあいに出発。

冬空の空が抜けるような青空で秋深い里山を見ながら海住山寺をめざして歩きだした。ほんとに静かな山沿いに史跡がたたずんであちこちで道草して皆さん楽しんでます。海住山寺の西側境内地内を通過してよいよ山に入って、足元には落ち葉が大量に溜まって滑りやすい山道が続いた。その間は皆さんがお喋りに余念なくハイキングです。日が出ている時はポカポカして気持ちよく、時折雲で遮られると急に寒くなるお天気は冬の気候です。山の中をどんどん登って山頂前のこじんまりした広場で先頭が休憩中、S L頼さんがここでお昼にしましょうと声かけて準備開始。

担いできた大きな荷物の中から「鍋、コンロ、食材、酒、マット」どんどん出くる。家庭用コンロはさすがに設営が早く、すぐに鍋の湯が湧き出しトン汁の具材が煮えだした。そこに大谷家特性のすいとんを投入して完成しました。コンロを中心に集まり大昼食会！！

あつい！あつい！の連発があちこちから聞こえて、ウマイウマイの声が連発してます。温まっている中、やおら抹茶が登場してびっくり！！茶筌で整えて一服！なかなか山の中では味わえないものに感激。その後に袋詰めしたぜんざいが鍋に投入。水を入れ過ぎるとまずくなるとか周りがるさい中出



来上がり全員で完食、大満足でぜひ次回もリクエストに大谷さんが困惑？

お腹が膨れて眠くなる中三上山の山頂に到着した。大きな展望台が設置されており、加茂から城陽まで一望出来ます。記念写真を撮ってから下山開始です。落ち葉が沢山積ってふわふわの山道を気持ちよく歩きだした。途中で正月用のウラジロ・榊を持って帰る人等思い思いに下山しています。

里山の澄んだ空気を吸ってお腹いっぱいの一日に、企画して頂いたC L大谷さんに感謝感謝！！（笑